



2011年5月13日

各 位

会社名 新コスモス電機株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 重盛徹志  
 (JASDAQ・コード：6824)  
 問合せ先  
 取締役上席執行役員  
 管理本部長 飯森 龍  
 (TEL. 06-6308-3112)

### 「中期経営計画 2008-2010」のまとめと「新中期経営計画」発表延期について

当社グループは2008年度より『人と技術で安全快適な環境づくりに貢献する』をスローガンに、「中期経営計画 2008-2010」を策定し、経営基盤の強化と成長軌道の確立のため【競争力の強化】と【体質の強化】を進めてまいりました。

この3年間の取り組みをもとに、2011年度からの新たな中期経営計画の策定を進めておりましたが、3月に発生した東日本大震災の影響により、事業活動の先行きに対する不透明感が強くある状況を踏まえ、中期経営計画の発表を延期することといたしました。

なお、中期経営計画「2008-2010」のまとめは以下の通りです。

#### 1. 「中期経営計画 2008-2010」のまとめ

「中期経営計画 2008-2010」では、【競争力の強化】と【体質の強化】に取り組み、最終年度である2010年度、売上高173億円・営業利益率9%以上を目指してまいりました。

#### 2010年度の実績

(数字は連結 単位：百万円)

		2010年度 (2011年3月期)	
		計画	実績
売上高		17,340	17,120
	家庭用	7,720	7,808
	工業用定置式	5,320	4,996
	業務用携帯型	3,980	4,059
	その他	320	255
営業利益		1,470	1,717

売上高ではわずかに計画に届かなかったものの、営業利益率は 10.0%と計画を達成することができました。

また、【競争力の強化】では、①商品ラインアップの整備と新規事業の強化として、スウェーデンのセンサメーカーSenseAir 社への資本参加による、新たなセンサ搭載の商品の開発 ②産業用ガス検知警報器分野の首都圏での営業力強化と商品戦略による売上の拡大 ③中国現地法人の経営を軌道に乗せる ④オランダのガス検知警報器メーカー Bionics Instrument Europe B.V.社の子会社化によるヨーロッパ市場での拠点整備 など確実に事業を推進した一方で、リーマンショック以降の世界経済の不透明化や住宅用火災警報器の価格下落による伸び悩みなどがありました。

【体質の強化】では、①内部統制システムの適切な実行 ②安定した配当政策の実施 ③BCPの整備 等を行ってきた一方で、生産設備整備への投資等のずれ込みといった課題が残りました。

## 2. 新しい中期経営計画の策定について

2011 年度は震災対応を中心に足元を固める年と位置づけ、公表しております事業計画の達成に向け取り組んでまいります。また、中期経営計画については1年延期し、来年「中期経営計画2012-2014」として発表する予定です。

以上